

# ミラノ、ヴェネチア、フィレンツェ、ローマ、ナポリを巡る イタリア周遊9日間



日付	都市	時間	日程	宿泊地	食事
9/7 (木)		午前 夕刻	成田または関西空港より、空路ミラノへ (直行便または欧州内の1都市経由便) ミラノ到着、入国手続後、専用車で市内ホテルへ 【ミラノ 泊】		機 機 機
9/8 (金)	ミ ラ ノ	朝 午前 昼 午後	ホテルにて朝食 専用車でミラノ市内観光にご案内 (ドゥオモ、ガッレリア、スカラ座など) レストランにて昼食 ホテルに戻り自由行動 ◎患者様は市内病院にて人工透析 【ミラノ 泊】		朝 屋 ×
9/9 (土)	ヴ ェ ネ チ ア	朝 午前 昼 午後	ホテルにて朝食 専用車で鉄道駅へ 列車で水の都ヴェネチアへ ヴェネチア着後、荷物を駅に預け、レストランへ レストランにてシーフードの昼食をお楽しみ下さい 食後、船と徒歩でヴェネチア観光にご案内します (ドゥカーレ宮殿、サンマルコ広場など) 観光後、専用船で鉄道駅へ 特急列車でフィレンツェへ		朝 屋 夕
	フ イ レ ン ツ ェ	夕刻	到着後、レストランにて夕食 【フィレンツェ 泊】		
9/10 (日)		朝 午前 昼 午後 夕刻 夜	ホテルにて朝食 食後、徒歩でフィレンツェの観光にご案内 (花の聖母教会、ウフィッツィ美術館など) 観光後、レストランにて昼食 食後、特急列車でローマへ 到着後、専用車で市内観光へご案内 (トレビの泉、スペイン階段、コロッセオなど) 観光後、レストランにて夕食 食後、ホテルにチェックイン 【ローマ 泊】		朝 屋 夕
9/11 (月)	ロ ー マ	朝 午前 昼 午後	ホテルにて朝食 専用車でバチカン市国の観光へご案内(バチカン美術 館、システリーナ礼拝堂、サン・ピエトロ寺院) 観光後、レストランにて昼食 食後 ホテルに戻り自由行動 ◎患者様は市内病院にて人工透析 【ローマ 泊】		朝 屋 ×
9/12 (火)	ナ ポ リ	朝 午前 昼 午後 夕刻	ホテルにて朝食 専用車でポンペイ遺跡の観光にご案内 着後、徒歩で遺跡の観光にご案内 観光後、専用車でナポリへ 着後、レストランにて本場ナポリピッツァの昼食 食後、専用車で市内観光にご案内 (サンタ・ルチア港、卵城など) 観光後、専用車でローマへ 着後、レストランにて夕食 【ローマ 泊】		朝 屋 夕
9/13 (水)	ロ ー マ	朝 終日	ホテルにて朝食 自由行動 ◎患者様は市内病院にて人工透析 【ローマ 泊】		朝 ×
9/14 (木)		朝 午前	ホテルにて朝食 ホテルを出発、専用車で空港へ 空港にて搭乗・出国手続後、空路、帰国の途へ (直行便または欧州内の1都市経由便) 【機中 泊】		朝 機 機
9/15 (金)		午前	成田または関西空港到着 入国手続後、解散		機

## 旅行期間

9月7日(木)～9月15日(金)

## 旅行代金

出発地：東京・大阪

598,000円

(2名1室ご利用のお1名様あたり)

◎燃油サーチャージ、空港税について：燃油特別付  
加料金(燃油サーチャージ)、並びに海外の空港使  
用税及び国内空港の空港施設使用料、航空保険料  
は旅行代金に含まれます。今後、燃油サーチャ  
ージに増減があった場合でも、旅行代金に変更はご  
ざいませぬ。

○成田または関西空港にて集合後、国際線に搭乗  
いたします。各地からの乗り継ぎが伊丹または  
羽田発着になる場合、伊丹～関空または成田  
～羽田間の移動費用は旅行代金に含まれます。

◎添乗員は成田または関空より同行致します。

●利用予定航空会社：アリタリアまたはフィンエアーまた  
はKLMオランダ航空

●利用予定ホテル：

ミラノ クラウン・プラザ・ミラノ・リナーテ クラス

フィレンツェ C・ホテルズ・アンバシヤトリ クラス

ローマ ホテル・マッシモ・ダゼリオ クラス

●食事条件：朝7回・昼5回・夕3回

●一人部屋追加代金：112,000円(7泊分)

●現地透析：3回(ミラノ、ローマ)

●透析費用：1回 約55,000円

●最少催行人員：6名

●査証：イタリア入国に査証は必要ありませんが、旅券  
の残存期間がイタリア出国時に6ヶ月以上必要です。

●渡航情報(危険情報)：イタリアには現在危険情  
報は出ていません。

## 【旅の見どころ】

●ミラノ：ローマに次ぐイタリア第2の都市です。ゴシック  
建築の一代傑作であるドゥオモ、ヴィットリオ・エマヌエ  
レ2世のガッレリアなどをご覧頂きます。

●ヴェニス：水の都として世界的に知られ、海に連なる  
潟湖(ラグーン)上に栄えた都市です。100を超える運河  
が、町全体に網の目のようにはりめぐらされています。

●フィレンツェ：ワインやオリーブの産地であり、トス  
カーナ州の州都、フィレンツェでは、中世末期に毛織物  
工業で繁栄し、ルネッサンスが開花しました。色鮮やかな  
大理石で飾られた「花の聖母教会」ドゥオモなど、花  
の都の名にふさわしい華やかな街並みが魅力です。

●ローマ：イタリア共和国の首都であるローマには、永  
遠の都とも呼ばれ、バロックの劇場とも言われます。フ  
ォロ・ロマーノ、コロッセオなどの古代遺跡や、ルネッサ  
ンスの宮殿、バロックの教会が随所に残り、街自体が巨  
大な歴史・文化史の博物館だと言えます。

●ナポリ：ローマ、ミラノに次ぎ、イタリア第3の都市ナ  
ポリは、ローマ帝国当時の華やかな時代が偲ばれる建  
築物と、港町ならではの活気と喧嘩が同居しています。

●ポンペイ：西暦79年、火山の噴火で一夜の内に灰に  
埋まった古代都市ポンペイは、17世紀に始まった発掘  
作業により町の全容が再び姿を現しました。驚くほど見  
事に残された古代の町の狭い通りを歩くと、タイムスリッ  
プをしたように当時の生活を偲ぶことができます。